

表8 「新210手引き案」修正案(誤記等の修正点) 1/4

処方No.	処方名	分類	修正案	特記	結論
11	越婢加朮湯	表	JP7第一部解説書(付録)を参考文献に追加	記載漏れ	修正案通りに変更。
11A	越婢加朮附湯	表	生姜の量を記載(記載漏れ)	記載漏れ	表の生姜の分量を下記の通り変更。 応用の実際 3 改訂処方集 3 漢方入門講座 3 新古方薬彙 三両 実用療法 3
50A	桂枝茯苓丸料加薏苡仁	表	診療医典、症候別治療に基づく分量の記載	記載漏れ	表の薏苡仁の分量を下記の通り変更。 診療医典 10 症候別治療 20
90	滋腎明目湯	表	燈心草の分量を記載	記載漏れ	表の燈心草の分量を下記の通り変更。 診療医典 1.5 処方分量集 1.5 処方解説増補改訂 1.5 漢方医学 1.5 民間薬百科 1.5
107	椒梅湯	表	香附子及びその分量を挿入	記載漏れ	表に香附子の欄を挿入し、以下の分量を記載。 診療の実際 2 診療医典 2
116	真武湯	解説	或いはし、或いは嘔す⇒或いは咳し、或いは嘔す	記載漏れ	修正案通りに変更。
123	清熱補氣湯	処方構成	麥門冬3を入れる	記載漏れ	修正案通りに変更。
142	大防風湯	処方構成	(乾姜も可)⇒(乾姜1も可)	記載漏れ	修正案通りに変更。
196	麻子仁丸	表	「成人病の漢方療法」(甘草1.5)を参考文献に追加	記載漏れ	修正案通りに変更。
208A	明朗飲	注釈	・黄散⇒芍黄散	記載漏れ	修正案通りに変更。
1	安中散	表	生薬の分量を現行210手引きより移行ミス	間違い訂正	現行210手引きの通りに修正。
1A	安中散加茯苓	表・注釈	欠如	記載漏れ	作成。日漢協定題。

表8 「新210手引き案」修正案(誤記等の修正点) 2/4

処方No.	処方名	分類	修正案	特記	結論
10	温脾湯	表	中医臨床のための方剤学に基づく分量の訂正	間違い訂正	中医臨床のための方剤学の生薬分量を以下の通り修正。 大黃 4 人參 3 炙甘草 1 乾姜 2 附子 3
11C	桂枝二越婢一湯 など	注釈	マラリヤ⇒マラリア	間違い訂正	修正案通りに変更。
38	苦参湯	用法・用量	水50-60mlで煮て250-30mlとし外用す。⇒水500-600mlで煮て250-300mlとし外用す。	間違い訂正	修正案通りに変更。
45A	黄耆桂枝五物湯	注釈	・痺にもちいるとは書いていないが、kろえで・痺を治し… ⇒ 瘡痺にもちいるとはかいていないが、これで瘡痺を治し…	間違い訂正	修正案通りに変更。
49	桂枝芍薬知母湯	表	附子の分量 1 (23) ⇒ 削除	間違い訂正	修正案通りに変更。
54	鷄鳴散加茯苓	注釈	時方歌訣⇒時方歌括	間違い訂正	修正案通りに変更。
81	紫雲膏	処方構成	紫根100-200⇒紫根100-120 当帰60-10⇒当帰60-100	間違い訂正	修正案通りに変更。
82A	解勞湯	注釈	重複文削除	間違い訂正	修正案通りに変更。
82B	柴胡疎肝湯 など	解説	衝逆⇒衝逆	間違い訂正	修正案通りに変更。
83A	四逆加入参湯	注釈	後藤良山⇒後藤良山	間違い訂正	修正案通りに変更。
90	滋腎明目湯	表	曼荊子⇒曼荊子	間違い訂正	修正案通りに変更。
96	蛇床子湯	処方構成	威靈仙1⇒威靈仙10	間違い訂正	修正案通りに変更。
101C	帰耆連中湯	処方構成	膠飴なくても可⇒膠飴はなくとも可	間違い訂正	修正案通りに変更。
102A	小柴胡湯加桔梗石膏	処方構成	生姜4⇒削除(だぶり)	間違い訂正	修正案通りに変更。
107	椒梅湯	処方構成	漬椰子⇒漬椰子 川楝子⇒川楝子	間違い訂正	修正案通りに変更。
109	逍遙散(八味逍遙散)	表	逍遙散⇒逍遙散	間違い訂正	修正案通りに変更。
109	逍遙散(八味逍遙散)	表	八味逍遙散⇒八味逍遙散	間違い訂正	修正案通りに変更。
109B	加味逍遙散加川芎地黄	表	加味逍遙散⇒加味逍遙散	間違い訂正	修正案通りに変更。

表8 「新210手引き案」修正案(誤記等の修正点) 3/4

処方No.	処方名	分類	修正案	特記	結論
116	真武湯	注釈	雀目(ちりめ)⇒雀目(とりめ)	間違い訂正	修正案通りに変更。
123	清熱補気湯	注釈	重複文削除	間違い訂正	修正案通りに変更。
124	清熱補血湯	注釈	重複文削除	間違い訂正	修正案通りに変更。
127	洗肝明目湯	表	参考文献の脱落⇒症候による漢方治療の実際 夏梨子⇒夏荆子 夏荆子、菊花、疾梨子の脱落	間違い訂正 記載漏れ	修正案通りに変更。
154	当帰四逆湯 など	表	新選類聚話⇒新選類聚方	間違い訂正	新撰類聚方に変更。
158	独活寄生湯	表	寄生⇒桑寄生	間違い訂正	修正案通りに変更。
168	八味疝氣方	処方構成	延胡索⇒延胡索	間違い訂正	修正案通りに変更。
176A	茯苓飲加半夏	出典	類聚方広義⇒類聚方広義	間違い訂正	修正案通りに変更。
176A	茯苓飲合半夏厚朴湯	表	漢方保健診療の実際⇒漢方保険診療の実際	間違い訂正	修正案通りに変更。
177	茯苓杏仁甘草湯	注釈	木防己湯⇒木防己湯	間違い訂正	修正案通りに変更。
185	防己茯苓湯	解説	振掉⇒振掉	間違い訂正	修正案通りに変更。
205	苓甘姜味辛夏仁湯	注釈	重複文削除	間違い訂正	修正案通りに変更。
200 208C	薏苡仁附子敗醬散 連珠飲	しぼり	体力虚弱な人の次の症状⇒……諸症	間違い訂正	修正案通りに変更。
208 208C	香桂朮甘湯 連珠飲	しぼり	動機⇒動悸	間違い訂正	修正案通りに変更。
208C	連珠飲	注釈	至急出欠が長引いて⇒子宮出血が長引いて	間違い訂正	修正案通りに変更。
208C	連珠飲	注釈	伴うときに→連珠飲でなかつた ⇒→を取る	間違い訂正	修正案通りに変更。
141	大半夏湯	処方名	大半夏湯のふりがな 現行210手引き: たいはんげとう 新210手引き案: たいはんげとう 和漢医薬雑誌 vol.22(2005)、薄谷喜一郎ら、 "漢方処方名ローマ字表記法"に従い、 「たいはんげとう」で統一	用語統一	修正案通りに変更。
46	桂枝加芍薬湯 など	脚注	鼠径部⇒鼠蹊部	用語統一	変更しない。鼠蹊部で正しい。
69	柴胡枳桔湯	原典	傷寒温要⇒傷寒總要	用語統一	修正案通りに変更。
83	四逆湯 など	脚注	方読井解⇒方撰井解	用語統一	変更しない。方読井解で良い。

表8 「新210手引き案」修正案(誤記等の修正点) 4/4

処方No.	処方名	分類	修正案	特記	結論
154	当帰四逆湯 など	表	新撰類聚方⇒新選類聚方	用語統一	変更しない。新撰類聚方で正しい。
199	葱豉仁湯	処方構成	芍薬⇒芍薬	用語統一	修正案通りに変更。
74	柴苓湯 など	原典	世医得効方⇒世医得効方	用語統一(旧字に統一)	変更しない。世医得効方で正しい。
116	真武湯	解説	身ジュン動⇒身(目へんに関)動	記載整備	修正案通りに変更。 ただし、目へんに関は作字。
197	木防己湯	解説	面色レイ黒⇒面色黧黒	記載整備	修正案通りに変更。
154A	当帰四逆加呉茱萸生姜湯	しばり	……下肢が冷えが強く⇒……下肢の冷えが強く	記載整備	修正案通りに変更。
151	天王補心丸	用法・用量	1日6g 1日3回⇒1日2g 1日3回 に変更	記載整備(他の処方の記載に統一)	修正案通りに変更。

表9 「改訂版新210手引き案」修正案(重要事項) 1/1

処方 No.	処方名	分類	現 状	修正案	変更内容と理由	結論
22	葛根紅花湯	注釈	注1に「返し点」が付いた漢文が引用されている	「返し点」無しの漢文にする	Word2003では返し点の入力ができない 他の処方で返し点無しの漢文が引用されている	返し点無しの漢文とする。
99	潤腸湯	注釈	コロコロした*の糞の如きものとなり	兎のことか？		兎でよい。
183B	加味平胃散	注釈	甲治傷食吐瀉。甲は○に囲まれている	作字してもらうか？(甲)でよいか？		(甲)でよい。
60	牛膝散など	注釈	橋本方輿輟の引用において、*と いう文字が度々出てくる	「シテ」に書き直すか？ 作 字してもらうか？		シテで良い。
114	参蘇飲	注釈	学名中の人名の2文字目以降を スモールキヤピタルにできない	普通の小文字にする	もともと文字が小さいため	普通の小文字でよい。

表 10 改訂新一般用漢方処方の手引き案
外字対照表

外字番号	現状	正字
1	【葛】	葛
2	【芍】	芍
3	【梨】	藜
4	【渣】	渣
5	【癩】	癩
6	【皸】	皸
7	【疔】	疔
8	【咬】	咬
9	【巖】	巖
10	【瞞】	瞞

表11 本会議で宿題とされた問題に対する解答 1/1

処方No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容と理由
11A	越婢加朮附湯	表	大附子の分量が記載されていない	大附子を削除	原典の千金要方に大附子の記載がある。ただし、表に並ぶ参考文献には大附子の記載はない。
11A	越婢加朮附湯	表	漢方精選百八方に生薬分量の記載がない	漢方精選百八方を参考文献から削除	文献に効能効果に影響する記載は無いため、表から削除する
185	防已茯苓湯	表	注2の文献指定無し	金匱要略入門	
202D	八解散	効能効果	表に葱白が記載されている根拠が不明	解説に「原典では葱三寸が加えられている。」と記載。	和剤局方に右の記載があるが、表には入れられないため、解説で述べる。
10	温脾湯	表	中医臨床のための方剂学の生薬分量 大黃12、人參9、炙甘草3、乾姜6、附子9	大黃4、人參3、炙甘草1、乾姜2、附子3とし、脚注に「* 文献記載の1/3の分量で記載。」と付す	中医処方解説の「日本の常用量は中国量の1/3にする。」との記載に追従する。
1	安中散	表	処方構成に存在しない茯苓が記載されている	茯苓の欄を削除	1A安中散加茯苓の表と区別する。
1A	安中散加茯苓	表	なし	別紙Fの通りに表を作成	1安中散と区別して別の表を作る。
2	胃苓湯	解説	方函類聚に「厚朴、橘皮、甘草、蒼朮、猪苓、沢瀉、茯苓、桂枝、の8味からなり、傷食ニ水飲ヲ帯スル者其他水穀不化下利或ハ脾胃不和シテ水氣ヲ発スル者ニ用ユヘシ」とあり、	左の記載を削除	3胃風湯の解説部分が誤って胃苓湯に記載されている
167	八味地黄丸	効能効果		残尿感を追加	「漢方診療の実際」と「症候による漢方治療の実際」に記載がある
167B	六味地黄丸	効能効果		残尿感を追加	「日常診療の中の漢方」に記載がある

表12 本会議後に追加された修正点 1/4

処方No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容と理由
11B	桂枝越婢湯	解説	出典の処方内容は、桂枝10、芍薬2.5、大棗2.0、麻黄1.0、蒼朮1.5、烏頭0.3、石膏2.0、甘草0.8であるが、細野は処方中の烏頭を附子に変え、個々の生薬の分量も浅田流漢方の常用量に変換し、処方名を桂枝越婢湯と単純にしたものである。細野史郎は関節リウマチや痛風の第一選択薬としている。	原典の処方内容は、桂枝10、芍薬2.5、大棗2.0、麻黄1.0、蒼朮1.5、烏頭0.3、石膏2.0、甘草0.8であるが、細野は処方中の烏頭を附子に変え、個々の生薬の分量も浅田流漢方の常用量に変換し、さらに生薬を加え、処方名を桂枝越婢湯と単純にしたものである。細野史郎は関節リウマチや痛風の第一選択薬としている。	記載整備
23	葛根湯	処方構成	葛根4-8、麻黄3-4、大棗3-4、桂枝2-3、芍薬2-3、甘草2、生姜0.75-1.33	葛根4-8、麻黄3-4、大棗3-4、桂皮2-3、芍薬2-3、甘草2、生姜1-1.5	生姜変換見直し
23A	葛根湯加川芎辛夷	処方構成	葛根4-8、麻黄3-4、大棗3-4、桂皮2-3、芍薬2-3、甘草2、生姜0.75-1.33、川芎2-3、辛夷2-3	葛根4-8、麻黄3-4、大棗3-4、桂皮2-3、芍薬2-3、甘草2、生姜1-1.5、川芎2-3、辛夷2-3	生姜変換見直し
30	甘露飲	脚注		○ 文献に分量の記載なし。	記載整備のため追加
32A	加味帰脾湯	処方構成	人参3、白朮3、茯苓3、酸棗仁3、竜眼肉3、黄耆2-3、当归2、遠志1-2、柴胡2.5-3、山梔子2-2.5、木香1、大棗1-2、生姜1、牡丹皮2（牡丹皮はなくても可）	人参3、白朮3（蒼朮も可）、茯苓3、酸棗仁3、竜眼肉3、黄耆2-3、当归2、遠志1-2、柴胡2.5-3、山梔子2-2.5、甘草1、木香1、大棗1-2、生姜1-1.5、牡丹皮2（牡丹皮はなくても可）	生姜変換見直し
40	九味檳榔湯	表	枳皮	橘皮	訂正
40	九味檳榔湯	脚注		○ 文献に分量の記載なし。	記載整備のため追加
54	鶏鳴散加茯苓	処方構成	檳榔子3-4、木瓜3、橘皮2-3、桔梗2-3、茯苓4-6、呉茱萸1-1.5、蘇葉1-2、生姜1（ヒネシヨウガを使用する場合3）	檳榔子3-4、木瓜3、橘皮2-3、桔梗2-3、茯苓4-6、呉茱萸1-1.5、蘇葉1-2、生姜1-1.5（ヒネシヨウガを使用する場合3）	生姜変換見直し
57	香砂養胃湯	処方構成	白朮2.5-3、茯苓2.5-3、蒼朮2、厚朴2-2.5、陳皮2-2.5、香附子2-2.5、白豆蔻2（小豆蔻代用可）、人参1.5-2、木香1.5、縮砂1.5-2.5、甘草1.5-2.5、大棗1.5-2.5、生姜1	白朮2.5-3、茯苓2.5-3、蒼朮2、厚朴2-2.5、陳皮2-2.5、香附子2-2.5、白豆蔻2（小豆蔻代用可）、人参1.5-2、木香1.5、縮砂1.5-2.5、甘草1.5-2.5、大棗1.5-2.5、生姜0.7-1	生姜変換見直し

表12 本会議後に追加された修正点 2/4

処方No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容と理由
63	五物解毒散	表注	橋本方輿観 有持桂里先生口述。	橋本方輿観 有持桂里先生口述。	記載整備
73	柴朴湯	処方構成	柴胡7、半夏5-8、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、黄芩3、大蘗3、人參3、甘草2、茯苓4-5、厚朴3、蘇葉2-3	柴胡7、半夏5-8、生姜1-2(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、黄芩3、大蘗3、人參3、甘草2、茯苓4-5、厚朴3、蘇葉2-3	生姜変換見直し
93	炙甘草湯	処方構成	炙甘草3-4、生姜0.5-1(ヒネシヨウガを使用する場合1-3)、桂皮3、麻子仁3-4、大蘗3-7.5、人參2-3、地黄4-16、麦門冬5-6、阿膠2-3	炙甘草3-4、生姜0.8-1(ヒネシヨウガを使用する場合3)、桂皮3、麻子仁3-4、大蘗3-7.5、人參2-3、地黄4-16、麦門冬5-6、阿膠2-3	生姜変換見直し
93	炙甘草湯	解説	水3-35mLに日本酒14-15mLを加えたもので阿膠以外のものを煮て120から25mLとし、	水3~35mLに日本酒140-150mLを加えたもので阿膠以外のものを煮て120~250mLとし、	記載整備
98	十味敗毒湯	処方構成	柴胡2.5-3.5、椋皮(樺櫟)2.5-3.5、桔梗2.5-3.5、川芎2.5-3.5、茯苓2.5-4、独活1.5-3、防風1.5-3.5、甘草1-2、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合1-3)、荊芥1-2、連翹2-3(連翹のない場合も可)	柴胡2.5-3.5、椋皮(樺櫟)2.5-3.5、桔梗2.5-3.5、川芎2.5-3.5、茯苓2.5-4、独活1.5-3、防風1.5-3.5、甘草1-2、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3)、荊芥1-2、連翹2-3(連翹のない場合も可)	生姜変換見直し
101B	当帰建中湯	処方構成	当帰4、桂皮3-4、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、大蘗3-4、芍薬5-7.5、甘草2-2.5、膠飴20(膠飴はなくても可)	当帰4、桂皮3-4、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合4)、大蘗3-4、芍薬5-7.5、甘草2-2.5、膠飴20(膠飴はなくても可)	生姜変換見直し
101C	帰耆建中湯	処方構成	当帰3-4、桂皮3-4、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、大蘗3-4、芍薬5-6、甘草2-3、黄耆2-4、膠飴20(膠飴はなくても可)	当帰3-4、桂皮3-4、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合2-4)、大蘗3-4、芍薬5-6、甘草2-3、黄耆2-4、膠飴20(膠飴はなくても可)	生姜変換見直し
102A	小柴胡湯加桔梗石膏	処方構成	柴胡7、半夏5、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、黄芩3、大蘗3、人參3、甘草2、桔梗3、石膏10	柴胡7、半夏5、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合4)、黄芩3、大蘗3、人參3、甘草2、桔梗3、石膏10	生姜変換見直し
102D	清肌安痢湯	処方構成	柴胡6-7、半夏5-6、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、人參3、黄芩3、甘草2、海人草3、麦門冬3	柴胡6-7、半夏5-6、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、人參3、黄芩3、甘草2、海人草3、麦門冬3	生姜変換見直し

表12 本会議後に追加された修正点 3/4

処方No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容と理由
103	小承気湯	処方構成	大黃2、枳実2、厚朴3	大黃2-4、枳実2-4、厚朴2-3	記載整備
109	逍遙散 (八味逍遙散)	処方構成	当帰3-4.5、芍薬3-4.5、柴胡3-4.5、白朮3-4.5(蒼朮も可)、茯苓3-4.5、甘草1.5-3、生姜1、薄荷葉1-2.1	当帰3-4.5、芍薬3-4.5、柴胡3-4.5、白朮3-4.5(蒼朮も可)、茯苓3-4.5、甘草1.5-3、生姜0.5-1、薄荷葉1-2.1	生姜変換見直し
119	清上瀉痛湯 (驅風触痛湯)	処方構成	麦門冬2.5-6、黄芩3-5、羌活2.5-3、独活2.5-3、防風2.5-3、蒼朮2.5-3(白朮も可)、当帰2.5-3、川芎2.5-3、白芷2.5-3、薑荊子1.5-2、細辛1、甘草1、藜蘆1.5、菊花1.5-2、生姜0.6-1(ヒネシヨウガを使用する場合2.5-3)(藜蘆、菊花、生姜はなくても可)	麦門冬2.5-6、黄芩3-5、羌活2.5-3、独活2.5-3、防風2.5-3、蒼朮2.5-3(白朮も可)、当帰2.5-3、川芎2.5-3、白芷2.5-3、薑荊子1.5-2、細辛1、甘草1、藜蘆1.5、菊花1.5-2、生姜0.5-1(ヒネシヨウガを使用する場合1.5-2.5)(藜蘆、菊花、生姜はなくても可)	生姜変換見直し
120	清上防風湯	効能効果	にきび、顔面・頭部の湿疹、酒皰鼻(赤鼻)	にきび、顔面・頭部の湿疹、あかはな(酒皰鼻)	記載整備
131	喘四君子湯	処方構成	人參2-3、白朮2-4、茯苓2-4、陳皮2、厚朴2、縮砂1-2、蘇子2、沈香1-1.5、桑白皮1.5-2、当帰2-4、木香1-1.5、甘草1-3、生姜1、大棗2(生姜、大棗なくても可)	人參2-3、白朮2-4、茯苓2-4、陳皮2、厚朴2、縮砂1-2、紫蘇子2、沈香1-1.5、桑白皮1.5-2、当帰2-4、木香1-1.5、甘草1-3、生姜1、大棗2(生姜、大棗なくても可)	記載整備
133A	小續命湯	処方構成	麻黄2-4、防己2-3、人參1-3、黄芩2-3、桂皮2-4、甘草1-4、芍薬2-3、川芎2-3、杏仁3-3.5、加工ブシ0.3-1、防風2-4、生姜1-2(ヒネシヨウガを使用する場合4)	麻黄2-4、防己2-3、人參1-3、黄芩2-3、桂皮2-4、甘草1-4、芍薬2-3、川芎2-3、杏仁3-3.5、加工ブシ0.3-1、防風2-4、生姜1-3(ヒネシヨウガを使用する場合4-10)	生姜変換見直し
161	二陳湯	処方構成	半夏5-7、茯苓3.5-5、陳皮3.5-4、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合2-3)、甘草1-2	半夏5-7、茯苓3.5-5、陳皮3.5-4、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合2-3)、甘草1-2	生姜変換見直し
161A	枳縮二陳湯	処方構成	枳実1-3、縮砂1-3、半夏2-3、陳皮2-3、香附子2-3、木香1-2、草豆蔻1-2、乾姜1-2、厚朴1.5-2.5、面香1-2.5、延胡索1.5-2.5、甘草1、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合3)、茯苓2-3	枳実1-3、縮砂1-3、半夏2-3、陳皮2-3、香附子2-3、木香1-2、草豆蔻1-2、乾姜1-2、厚朴1.5-2.5、面香1-2.5、延胡索1.5-2.5、甘草1、生姜1、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3)、茯苓2-3	生姜変換見直し
165B	排膿湯	処方構成	甘草1.5-3、桔梗1.5-5、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合1-3)、大棗2.5-6	甘草1.5-3、桔梗1.5-5、生姜0.5-1(ヒネシヨウガを使用する場合1-3)、大棗2.5-6	生姜変換見直し

表12 本会議後に追加された修正点 4/4

処方 No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容と理由
169	半夏厚朴湯	処方構成	半夏6-8、茯苓5、厚朴3、蘇葉2-3、生姜1-2(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)	半夏6-8、茯苓5、厚朴3、蘇葉2-3、生姜1-2(ヒネシヨウガを使用する場合2-4)	生姜変換見直し
176B	茯苓飲合半夏厚朴湯	処方構成	茯苓4-6、白朮3-4(蒼朮も可)、人參3、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、陳皮3、枳実1.5-2、半夏6-10、厚朴3、蘇葉2	茯苓4-6、白朮3-4(蒼朮も可)、人參3、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合2-4)	生姜変換見直し
179	茯苓沢瀉湯	処方構成	茯苓4-8、沢瀉2.4-4、白朮1.8-3(蒼朮も可)、桂皮1.2-2、生姜1-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3-4)、甘草1-1.5	茯苓4-8、沢瀉2.4-4、白朮1.8-3(蒼朮も可)、桂皮1.2-2	生姜変換見直し
184	防已黃耆湯	処方構成	防已4-5、黃耆5、白朮3(蒼朮も可)、生姜1(ヒネシヨウガを使用する場合3)、大棗3-4、甘草1.5-2	防已4-5、黃耆5、白朮3(蒼朮も可)、生姜0.8-1.5(ヒネシヨウガを使用する場合3)、大棗3-4、甘草1.5-2	生姜変換見直し
194A	五虎湯	脚注		○ 文献に分量の記載なし。	記載整備のため追加
202D	八解散	解説		原典では葱三寸が加えられている。	参考文献表の葱白を除く代わりに文言を挿入
208A	明朗飲	脚注		○ 文献に分量の記載なし。	記載整備のため追加
208C	連珠飲	脚注		○ 文献に分量の記載なし。	記載整備のため追加
210	麗沢通気湯	脚注		○ 文献に分量の記載なし。	記載整備のため追加

表13 一般用医薬品の効能効果として適切な表現への変更 1/3

処方 No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容
5	烏薬順気散	効能効果	しびれ、筋力の低下、言葉のもつれ、四肢の痛み、肩こり、顔面神経麻痺	しびれ、筋力の低下、言葉のもつれ、四肢の痛み、肩こり	削除
11	越婢加朮湯	効能効果	浮腫(むくみ)、関節リウマチ、関節炎、湿疹、夜尿症、目の痒み・痛み	浮腫(むくみ)、関節痛、関節炎、湿疹、夜尿症、目の痒み・痛み	変更
11A	越婢加朮附湯	効能効果	浮腫(むくみ)、関節リウマチ、関節痛、筋肉痛、湿疹、夜尿症、目の痒み・痛み	浮腫(むくみ)、関節痛、筋肉痛、湿疹、夜尿症、目の痒み・痛み	変更
18	解急蜀椒湯	効能効果	冷え腹、急性胃腸炎、腹部の疝痛	冷え腹、急性胃腸炎、腹痛	変更
23B	独活葛根湯	効能効果	四十肩、五十肩、寝違え、肩こり	四十肩、五十肩、寝ちがえ、肩こり	変更
28	甘草附子湯	効能効果	関節リウマチ、関節痛、神経痛、感冒	関節痛、神経痛、感冒	削除
29	甘麦大棗湯	効能効果	ヒステリー、不眠症、小児の夜なき、ひきつけ	不眠症、小児の夜泣き、ひきつけ	削除
30	甘露飲	効能効果	口内炎、舌の荒れや痛み、歯槽膿漏	口内炎、舌の荒れや痛み、歯周炎	変更
40	九味檳榔湯	処方構成	疲労倦怠感、更年期障害、動悸、息切れ、浮腫、神経症、胃腸炎、リウマチ	疲労倦怠感、更年期障害、動悸、息切れ、浮腫、神経症、胃腸炎、関節痛	変更
49	桂枝芍薬知母湯	効能効果	関節リウマチ、関節炎、神経痛	関節痛、関節炎、神経痛	変更
54	鶏鳴散加茯苓	効能効果	下肢の倦怠感、ふくらはぎの緊張・圧痛、下肢浮腫の脚気様症状	下肢の倦怠感、ふくらはぎの緊張・圧痛	変更
64	五淋散	効能効果	頻尿、排尿痛、残尿感、尿の濁り	頻尿、排尿痛、残尿感、尿のにごり	変更
86	紫根牡蛎湯	効能効果	乳腺症、痔の痛み、皮膚炎、リンパ腺の腫れ、貧血、疲労	乳腺の痛み、痔の痛み、皮膚炎、リンパ腺のはれ、貧血、疲労倦怠	変更
91B	加味四物湯	効能効果	下肢の筋力低下、神経痛、関節リウマチ、関節痛	下肢の筋力低下、神経痛、関節痛	削除
101C	帰耆建中湯	効能効果	虚弱体質、病後・術後の衰弱、ねあせ、湿疹、皮膚のびらん、化膿性皮膚疾患	虚弱体質、病後・術後の衰弱、ねあせ、湿疹、皮膚炎、化膿性皮膚疾患	変更
113	神仙太乙膏	効能効果	切り傷、かゆみ、虫刺され、とこずれ、やけど	切り傷、痒み、虫刺され、軽いとこずれ、やけど	変更
116	真武湯	効能効果	下痢、急・慢性胃腸炎、胃腸虚弱、めまい、動悸、低血圧、感冒、むくみ、皮膚のかゆみ	下痢、急・慢性胃腸炎、胃腸虚弱、目まい、動悸、感冒、むくみ、皮膚の痒み	削除

表13 一般用医薬品の効能効果として適切な表現への変更 2/3

処方 No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容
127	洗肝明目湯	効能効果	目の充血、目の痛み、目の乾燥(ドライアイ)、角膜・結膜の炎症	目の充血、目の痛み、目の乾燥	削除
130	千金内托散	効能効果	化膿性皮膚疾患の初期、痔、とこずれ	化膿性皮膚疾患の初期、痔、軽いとこずれ	変更
142	大防風湯	効能効果	関節リウマチ、慢性関節炎、関節痛、神経痛	慢性関節炎、関節痛、神経痛	削除
151	天王補心丸	効能効果	不眠、不安感、肩こり、息切れ、動悸、口渇	不眠、精神不安、肩こり、息切れ、動悸、口渇	変更
155	当帰芍薬散	効能効果	月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、立ちくらみ、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、耳鳴り、低血圧	月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、目まい、立ちくらみ、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り	削除
155A	当帰芍薬散加附子	効能効果	月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、めまい、立ちくらみ、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り、低血圧	月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、目まい、立ちくらみ、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り	削除
158	独活寄生湯	効能効果	神経痛、関節痛、腰痛、関節リウマチ	神経痛、関節痛、腰痛	削除
166A	竹葉石膏湯	効能効果	から咳、気管支炎、気管支喘息、口渇、熱中症	からせき、気管支炎、気管支ぜんそく、口渇、軽い熱中症	変更
167	八味地黄丸	効能効果	下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善(肩こり、頭重、耳鳴り)、尿漏れ	下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、痒み、排尿困難、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善(肩こり、頭重、耳鳴り)、軽い尿漏れ	変更
173	白朮附子湯	効能効果	筋肉痛、関節リウマチ、神経痛、しびれ、めまい、感冒	筋肉痛、関節痛、神経痛、しびれ、目まい、感冒	削除
177	茯苓杏仁甘草湯	効能効果	息切れ、胸の痛み、喘息、せき、動悸	息切れ、胸の痛み、気管支ぜんそく、せき、動悸	変更
190	補陽還五湯	効能効果	しびれ、筋力低下、言葉のもつれ、頻尿、尿漏れ	しびれ、筋力低下、言葉のもつれ、頻尿、軽い尿漏れ	変更
192	麻黄附子細辛湯	効能効果	感冒、アレルギー性鼻炎、気管支炎、喘息、神経痛	感冒、アレルギー性鼻炎、気管支炎、気管支ぜんそく、神経痛	変更
197	木防己湯	効能効果	動悸、息切れ、喘息、浮腫(むくみ)	動悸、息切れ、気管支ぜんそく、浮腫(むくみ)	変更
204	竜胆瀉肝湯	効能効果	排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ、頻尿	排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ(おりの異常)、頻尿	変更

表13 一般用医薬品の効能効果として適切な表現への変更 3/3

処方 No.	処方名	分類	修正前	修正後	変更内容
205	菴甘姜味辛夏仁湯	効能効果	気管支炎、気管支喘息、動悸、息切れ、むくみ	気管支炎、気管支ぜんそく、動悸、息切れ、むくみ	変更
207	菴桂甘藜湯	効能効果	動悸、精神不安、ヒステリー	動悸、精神不安	削除
208A	明朗飲	効能効果	急・慢性結膜炎、流涙	急・慢性結膜炎、流涙(なみだ目)	変更

表14 参考文献表における誤用文献名及び誤用略称の訂正表

誤用文献名・誤用略称	略称表記	正式書名
1000万人の漢方		
診断と治療	診断と治療の実際	1000万人の漢方・診断と治療の実際
診療と治療		
内規	一般用漢方処方の手引き	一般用漢方処方の手引き
漢方医学の基礎と臨床	基礎と診察	漢方医学の基礎と診療
要方解説	後世要方解説	漢方後世要方解説
大医典	漢方大医典	漢方大医典
漢方処方分量集		
経験処方分量集	処方分量集	経験漢方処方分量集
漢方療法	実用療法	実用漢方療法－現代医学の盲点をつく
漢方194方の使い方		
薬局漢方	194方の使い方	薬局製剤 漢方194方の使い方
薬局漢方製剤194方の使い方		
薬局製剤		
改定新版漢方処方集		
改定新版漢方処方分量集	改訂処方集	改訂新版漢方処方集
改訂新版漢方処方分量集		
改訂新版漢方処方分量集		
漢方処方便法		
新版改訂漢方処方集		
外台秘用 中巻	外台秘要	外台秘要方
漢方と民間百科	民間薬百科	漢方と民間薬百科
漢方治療	治療百科	漢方治療百科
漢方処方の構成と適用	構成と応用	漢方処方の構成と応用
漢方診療ハンドブック	診療ハンドブック	漢方診療ハンドブック－健保適用エキス剤による
診療の医典	診療医典	漢方診療医典
精撰百八千方	精撰百八方	漢方精撰百八千方－その運用とかんどころ
漢方入門		
増補改訂入門講座	漢方入門講座	漢方入門講座1、増補改訂漢方入門講座上・下巻
漢方入門	漢方薬入門	漢方薬入門
漢方治療の実際		
治療の実際	症候別治療	症候による漢方治療の実際
疾病による漢方治療の実際		
諸侯による漢方治療の実際		
成人の漢方療法	成人病の漢方療法	成人病の漢方療法
成人病の漢方治療		
漢方処方		
明解漢方処方集	明解処方	明解漢方処方
漢方処方解説		
応用処方解説	処方解説	臨床応用漢方処方解説
臨床応用処方解説		
脾胃学の臨床	脾胃学説の臨床	脾胃学説の臨床

表 15 参考文献（略名、正式書名、編著者、出版年月日、出版社） 1/4

194方の使い方	薬局製剤 漢方194方の使い方：埴岡博・滝野行亮共著、昭63.9.30（薬業時報社）
E B M 漢方	EBM漢方：寺澤捷年・喜多敏明共著、平15.3.20（医歯薬出版）
医学処方解説	漢方医学処方解説：矢数道明著、昭15.1.1（日本漢方医学会）
医宗金鑑	御纂医宗金鑑：呉謙等編著、957年影印本（人民衛生出版社）
一貫堂医学	漢方一貫堂医学：矢数格著、昭39.7.12（医道の日本社）
医方考	名医方考：呉崑編著、1585年日本刊本
医方集解	医方集解：汪昂編著、1682年日本刊本
応用の実際	漢方処方応用の実際：山田光胤著、昭47.3.1第3版（南山堂）
改訂処方集	改訂新版漢方処方集：龍野一雄編著、昭49.6.25.改訂（中国漢方医学書刊行会）
かぜ薬基準	かぜ薬の製造（輸入）承認基準について：厚生省薬務局長通知（薬発第842号）、昭45.9.30
香月牛山選集	香月牛山選集：難波恒雄編、昭48.12.30（漢方文献刊行会）
漢方	漢方：長沢元夫著（岩崎書店）
漢方あれこれ	続漢方あれこれ：大阪読売新聞社編（浪速社）
漢方医学	漢方医学、新版漢方医学：漢方医学：昭43.8.20、新版漢方医学：大塚敬節著、昭48.2.16（創元社）
漢方掌典	漢方掌典：清水藤太郎著、昭和16（薬業往来社）
漢方処方大成	漢方処方大成：矢数圭堂監修、昭63.4.15第1刷（自然社）
漢方処方の八網分類	図説・漢方処方の八網分類：顔焜榮著、昭56（薬局新聞社）
漢方大医典	漢方大医典：大塚敬節他著、昭32.9第1版（東都書房）
漢方治療提要	漢方治療提要：和田正系著、昭49.4.1贈訂第三第2刷（医道の日本社）
漢方入門講座	漢方入門講座1、増補改訂漢方入門講座上・下巻：漢方入門講座1：龍野一雄著、昭27.12.1（東京漢方杏林会編集部）、増補改訂漢方入門講座上・下巻：龍野一雄著、昭49.3.20（中国漢方医学書刊行会）
漢方百話	臨床30年漢方百話、臨床35年続漢方百話、臨床40年続漢方治療百話：臨床30年漢方百話<漢方治療百話>：昭35.12.10、臨床35年続漢方百話<続漢方治療百話>：昭和40.12.7、臨床40年続漢方治療百話：昭45.5.30、矢数道明著（医道の日本社）
漢方薬術	漢方薬術：栗原愛塔著、昭63（単独舎）
漢方薬入門	漢方薬入門：難波恒雄著、昭48.11.1（保育社）
漢薬の臨床応用	漢薬の臨床応用：神戸中医学研究会著、平5.1（医歯薬出版）
奇効良方	奇効良方：方賢編著、1959年発行（商務印書館）
基礎と応用	漢方の基礎と応用：西岡五夫・大塚恭男・菊谷豊彦共著、昭59.2.10（薬事新報社）
基礎と診療	漢方医学の基礎と診療：西山英雄著、昭44.3.15（創元社）

表 15 参考文献（略名、正式書名、編著者、出版年月日、出版社）2/4

北里処方分量集	北里研究所東洋医学総合研究所漢方処方集
金匱要略	明愈子刊本 影印金匱要略：石原明解題、燎原、昭48.6.20再版発行
金匱要略入門	金匱要略入門：森田幸門著、昭43.1.15第2版（森田漢方治療研究所）
金創膏薬諸方	金創膏薬諸方：華岡青洲著（岩崎書店）
近代漢方薬	近代漢方薬ハンドブック：高橋良忠著、昭42.10（薬局新聞社）
外科正宗	新刊外科正宗：陳実功編著、1964年発行（人民衛生出版社）
外台秘要	外台秘要方：王燾編著、1955年影印本、1746年日本刊本（人民衛生出版社）
現代入門	現代漢方入門：毎日新聞社編、昭46.12.5（毎日新聞社）
皇漢医学	皇漢医学：湯本求真著、昭37（大安）
構成と応用	漢方処方の構成と応用：森雄材著、昭60.6.10（医歯薬出版）
後世要方解説	漢方後世要方解説：矢数道明著、昭37.5.30（医道の日本社）
古方薬囊	古方薬囊：荒木性次著、昭29（漢方精究初竜会）
古方要方解説	漢方古方要方解説：奥田謙蔵著、平3.8.20第6版（医道の日本社）
三因方	三因極一病証方論：陳言編著、1174年日本刊本
实用漢方処方集	实用漢方処方集：藤平健・山田光胤監修、平18.7.20改訂3版（じほう）
实用処方便覧	实用処方便覧：矢数圭堂著、昭63（自然社）
实用療法	实用漢方療法—現代医学の盲点をつく：藤平健著、昭47.5.1初版（保健同人社）
時方歌括	時方歌括：陳修園編著、1956年影印本（人民衛生出版社）
傷寒論	明趙開美刊本 影印傷寒論：石原明解題
傷寒論梗概	傷寒論梗概：奥田謙蔵著、昭29.4.15（東京漢方医学会）
傷寒論入門	傷寒論入門：森田幸門著、昭33（治療研究社）
症候別治療	症候による漢方治療の実際：大塚敬節著、昭38.9.20初版（南江堂）
常用漢方処方	図解・常用漢方処方：顔焜熒著、昭53.1.5（薬業時報社）
処方解説	臨床応用漢方処方解説：矢数道明著、昭41.5.5初版（創元社）
処方集	漢方処方集：龍野一雄著、昭和32.8.1（漢方書林）
処方集成	漢方処方集成：龍野一雄著、昭26（東方医学社）
処方分量集	経験漢方処方分量集：大塚敬節・矢数道明監修（医道の日本社）
新古方薬囊	新古方薬囊：荒木性次著、昭47.5.15（方術信和会）
新撰類聚方	新選類聚方：龍野一雄編、昭34.10.1（漢方医学大系刊行会）
診断と治療の実際	1000万人の漢方・診断と治療の実際：寺師睦濟著、昭48.1（豊文社）
診療医典	漢方診療医典：大塚敬節・矢数道明・清水藤太郎共著、昭44.1.15第1版（南江堂）
診療三十年	漢方診療三十年：大塚敬節著、昭34.6.1（創元社）
診療の実際	漢方診療の実際：大塚敬節・矢数道明・清水藤太郎共著、昭33.2.15第4版（南江堂）
診療のレッスン	漢方診療のレッスン：花輪壽彦著、平7.9.25（金原出版）
診療ハンドブック	漢方診療ハンドブック—健保適用エキス剤による：桑木 崇秀著、平成7.7（創元社）

表 15 参考文献（略名、正式書名、編著者、出版年月日、出版社） 3/4

図説 東洋医学	図説 東洋医学 湯液編 I 薬方解説：山田光胤・橋本竹二郎著、昭59. 6. 1初版（学習研究社）
成人病の漢方療法	成人病の漢方療法：寺師睦宗著、昭46. 8. 20（創元社）
精撰百八方	漢方精撰百八方—その運用とかんどころ：昭40. 3. 1初版（臨床漢方研究会）
千金方	備急千金要方：孫思邈編著、1955年影印本（人民衛生出版社）（1848年日本刊本）
第3薬局方	第3改正日本薬局方
第7薬局方	第7改正日本薬局方
丹溪心法附餘	丹溪心法附餘：方廣編著、1536年刊本（中国金陵梓行）
中医処方解説	中医処方解説：伊藤良・山本巖監修、神戸中医学研究会編著、昭57. 10. 20（医歯薬出版）
中医方剤学	中医臨床のための方剤学：神戸中医学研究会編著、平4. 4. 30（医歯薬出版）
中国概論	中国漢方医学概論：南京中医学院編著、中医学概論邦訳委員会訳編、昭41. 12. 10（中国漢方医学概論刊行会）
中国大辞典	中国医学大辞典：謝観編著、1957. 9第5次印刷（商務印書館）
直指方	新刊仁斉直指附遺方論：楊士瀛編著、1550年日本刊本
治療百科	漢方治療百科：荒木正胤著、昭39（岩崎書店）
日常診療の漢方	日常診療の漢方：菊谷豊彦著、昭60（ライオン社）
日東誌	日本東洋医学会誌
入門漢方医学	入門漢方医学：社団法人日本東洋医学会学術教育委員会編集、2002. 12. 10（社団法人日本東洋医学会）
脾胃学説の臨床	脾胃学説の臨床：張海峯・徐 共著、昭57. 1. 1（（財）東洋医学国際研究財団）
病気の漢方療法	あなたの病気の漢方療法：山田 光胤著、昭38. 1. 15初版（青樹社）
方苑	方苑：平岡水走編著、1811年刊本
方函類聚	栗園先生著方函類聚全：埴岡博著、昭48. 6. 1
方輿輓	校正方輿輓：有持桂里著、1853年刊本
保険診療の実際	漢方保険診療の実際—エキス剤を主とした：勝田正泰著、昭55. 1（パンサイエンス分室）
万病回春	増補万病回春：龔廷賢編著（医林書局出版）
診かた治しかた	漢方の診かた治しかた：寺師睦濟著、昭47. 10. 10第4版（福村出版）
民間薬百科	漢方と民間薬百科：大塚敬節著（主婦の友社）
明解処方	明解漢方処方：西岡一夫・高橋真太郎共著、昭41. 7. 10第1版（浪速社）
黙堂柴田良治処方集	黙堂柴田良治処方集：柴田良治著、昭63. 12（黙堂社）
臨床医の漢方	臨床医の漢方：木下繁太郎・鎌江眞吾著、昭44（医歯薬出版）
臨床提要	実用漢方医学叢書 臨床応用編(上)・漢方医学臨床提要(上)：大塚敬節著、湯本求真閲、昭8. 12. 16（春陽堂）
臨床と処方	漢法の臨床と処方：安西安周著、昭34. 9. 1（南江堂）

表 15 参考文献（略名、正式書名、編著者、出版年月日、出版社） 4/4

類聚方	類聚方：吉益東洞編著、1764年刊本
和漢診療学	症例から学ぶ和漢診療学：寺澤捷年著、平2.1（医学書院）
和劑局方	太平惠民和劑局方：陳師文等編著、1971年発行（商務印書館香港分室）

別紙 A 加味温胆湯の記載修正版 1/2

処方番号：9A 処方名：加味温胆湯（かみうんたんとう）

処方構成：

半夏 3.5-6、茯苓 3-6、陳皮 2-3、竹茹 2-3、生姜 1-2、枳実 1-3、甘草 1-2、遠志 2-3、玄参 2（五味子 3 に変えても可）、人参 2-3、地黄 2-3、酸棗仁 1-5、大棗 2、黄連 1-2（黄連のない場合も可）

*遠志、玄参、人参、地黄、大棗のない場合もある

用法・用量：

湯

しぼり：

体力中等度あるいはそれ以下で胃腸が虚弱なものの次の諸症

効能・効果：

神経症、不眠症

原典：万病回春

出典：医療衆方規矩

解説：

本方は温胆湯の加味方であるが、『千金方』、『万病回春』、『古今医鑑』等類似方があつて、それをそれぞれひきついでいるため現代の成本には著者によって、同名で構成内容が若干異なる処方が記載されている。

温胆湯に比較して、神経症状の激変しやすいものによく、とくに慢性病や大病のあと衰弱して眠れなくなったのを治す効果にすぐれている。